

# 初球からバットを振っていき —野球データを解析して指導者の言葉を検証する—

## 1. 背景・目的

監督が「1ストライク目からスイングをしろ」と指導をしていた。  
 → 本当に好成績につながるのかを検証する。



## 2. 研究方法

スコアブックのデータを場合分けし、それぞれの打撃成績を比較する。

対象試合：チームの対外試合 計104試合 (2018/7/28~2019/7/24)

対象選手：25人 (3557打席)

場合分け：① 1ストライク目に初めてスイングした場合 (1978打席)

② 2ストライク目に初めてスイングした場合 (1198打席)

③ 3ストライク目に初めてスイングした場合 (381打席)

比較項目：打率・出塁率・三振率・フライアウト率

## 3. 結果

スコアブックの集計・データ比較表 (チームの合計成績)

	打率			出塁率			三振率			フライアウト率		
	①	②	③	①	②	③	①	②	③	①	②	③
チーム合計	0.305	0.274	0.253	0.339	0.318	0.272	0.128	0.178	0.296	0.301	0.269	0.177

1ストライク目に初めてスイングした方が、3ストライク目に初めてスイングした時に比べて、

○打率・・・0.052高かった

○出塁率・・・0.067高かった

○三振率・・・0.168低かった

○フライアウト率・・・0.124高かった

## 4. 考察 (打者心理・投手心理)

1ストライク目に初めてスイングした方が、

○打率・・・体が動きやすくなり、練習通りの自分のスイングができる。

スイングすることによって、段々とボールにタイミングが合ってくる。

○出塁率・・・1ストライク目からスイングされると、自然と際どいコースが増える。

○三振率・・・単純にバットに当たる回数が多くなり、対応しやすくなる。

(3球見逃しでの三振は最悪だという心理が働き、ボール球に手を出す。)

○フライアウト率・・・思い切ったスイングができる。(3ストライク目は当てにくい傾向)

## ※比較結果

著作権の関係上、具体的なデータを示すことができないが、

本校以外の複数のチームでも、全ての項目で、同様の結果が得られた。

## 5. 結論

1ストライク目から  
スイングした方が、  
好成績につながる!!!!

## 6. 今後の展望

- ・今回の研究から得たデータを基にした作戦マニュアルや指導マニュアルを構築できるようさらにデータを増やす。
- ・試合の勝敗ごとに成績を比較し、数値の違いや勝敗の関連についてさらに研究する。